

国土交通省プログラム評価(政策レビュー)

台風・豪雨等に関する気象情報の充実
～災害による被害軽減に向けて～

平成17年12月14日

台風情報の表示方法等に関する懇談会(第1回)

気象庁予報部

1 国土交通省プログラム評価(政策レビュー)

- ☞ プログラム評価(政策レビュー)とは・・・
 - 実施中の政策・業務が当初の目的とした成果が達成されているかを検証
 - 課題や改善方策等を明らかにする
- ☞ 対象
 - 台風・豪雨等に関する台風予報、警報、注意報等の防災情報
- ☞ 視点
 - 防災機関、一般国民等、利用者の視点から、防災活動に情報が役立っているかを評価
 - 平成16年の風水害を踏まえた政府全体の対応(「集中豪雨時等における情報伝達及び高齢者等の避難支援に関する検討会」等)を考慮
- ☞ 評価の進め方
 - 満足度調査、アンケート、聞き取り調査等により課題を抽出し、改善策を策定。
 - 交通政策審議会気象分科会の意見を踏まえ、平成17年3月25日に公表。

2 今後の対応方針のまとめ

主な課題	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none">● 時間的にも空間的にも、さらにきめの細かい台風予報が求められている。	<ul style="list-style-type: none">● 12時間、24時間よりも短い時間間隔の位置・中心気圧等の予報を行う。【短期】● 台風から温帯低気圧に変わった後も、台風情報に準じた情報を発表する。【短期】
<ul style="list-style-type: none">● 3日より先の台風予報が求められている。	<ul style="list-style-type: none">● 精度と情報提供のあり方に留意しつつ、3日より先の台風予報をめざし、技術開発を推進する。【中期】
<ul style="list-style-type: none">● 警報等の防災気象情報と避難勧告等の防災活動との対応が不明確で、警報が必ずしも避難勧告等の防災対応につながっていない。	<ul style="list-style-type: none">● 市町村長の避難勧告等の判断や住民の避難行動を一層支援するよう警報等のリードタイム、発表基準等を避難勧告等の基準に適合させ、防災対応の各段階に適合した情報を発表する。【短期】● 関係機関とも協力して、土砂災害、洪水に関する警報等の高度化を図る。【中期】
<ul style="list-style-type: none">● 災害をもたらす激しい現象の地域性に比べ、警報対象区域がまだ大きすぎ、また、住民が区域名を理解できない場合もある。	<ul style="list-style-type: none">● 国民や防災活動に資するものとなるよう、市町村等の行政単位を対象とした警報等の発表をめざす。【中期】

【短期】は2年程度で実施するもの。

【中期】は5年程度での実現を旨とするもの。